



東京都てんかん支援拠点病院

国立精神・神経医療研究センター病院

東京都てんかん治療医療連携協議会委員（令和7年5月現在）

氏名	所属・役職
中川栄二	国立精神・神経医療研究センター病院・副院長
岩崎真樹	国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科・部長
谷口豪	国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部・部長
齋藤貴志	国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科・副部長
浪久悠	国立精神・神経医療研究センター病院・精神作業療法士長
原稔枝	国立精神・神経医療研究センター病院・看護師長
前原健寿	東京科学大学病院脳神経外科・教授
飯村康司	順天堂てんかんセンター脳神経外科・准教授
嶋田勢二郎	東京大学医学部附属病院てんかんセンター
松尾健	東京都立神経病院脳神経外科・医長
須永茂樹	東京医科大学八王子医療センター脳神経外科・講師
平川博之	東京都医師会・副会長
菊池健	東京精神科病院協会・常務理事
大土広将	東京精神神経科診療所協会・理事
中村千穂	日本てんかん協会東京都支部世話人・ピア相談員
草場藤太	日本てんかん協会東京都支部代表
菊地章人	東京都福祉局障害者医療担当部長
桑波田悠子	東京都保健医療局多摩小平保健所・保健対策課長

東京都人口：14,257,254人（R7年6月1日）

高齢者：約318万人で、総人口の約22.5～24.2%（全国最下位）
合計特殊出生率は2024年時点で0.96（全国最下位）

東京都 二次医療圏

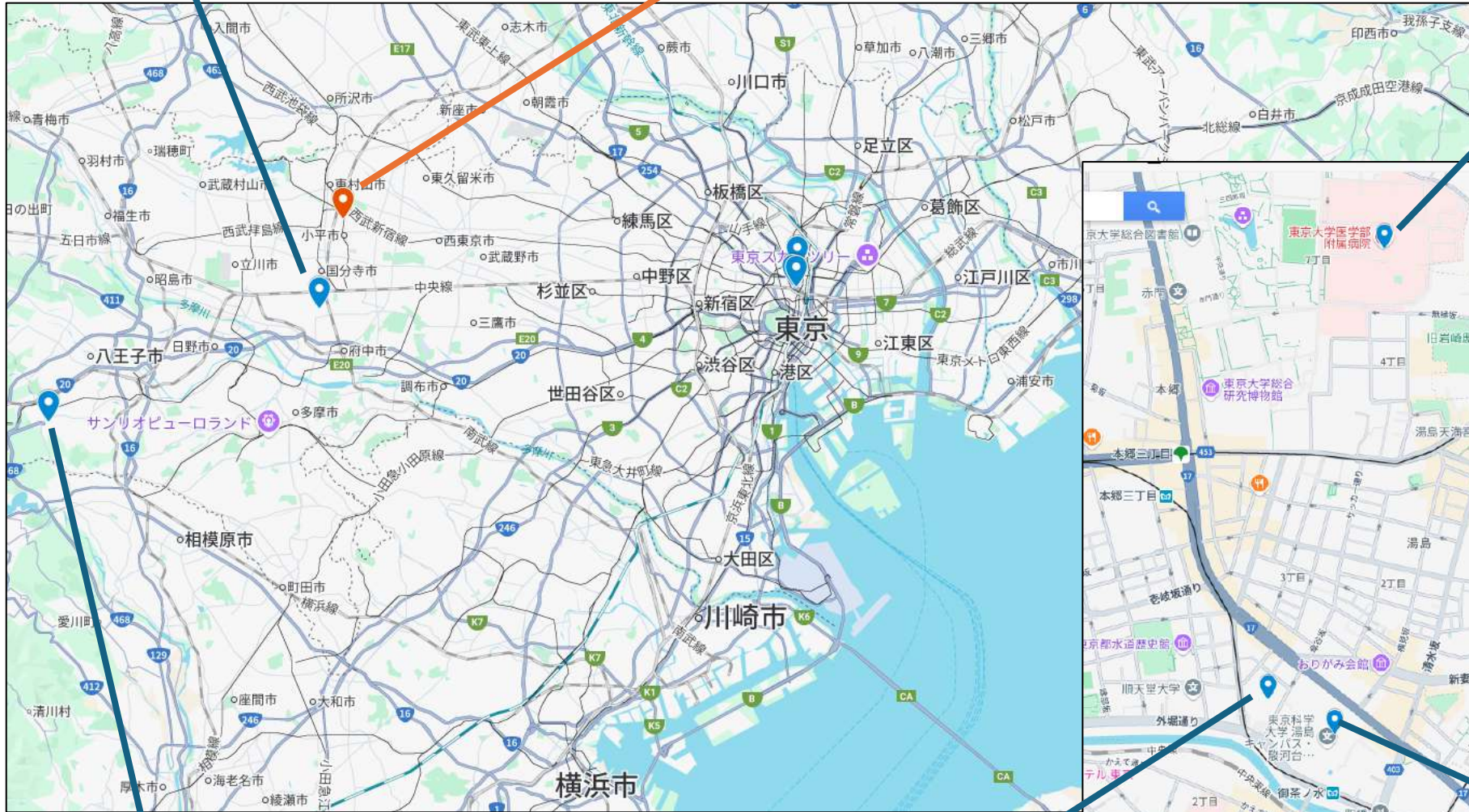
医師総数 48,578人（全国の医師の8割）
東京都の人口10万人あたり医師数は約320.9人（全国4位）
東京都の病院数は、約629施設
人口あたりの病院数約4.4施設（全国最下位）



国立精神・神経医療研究センター病院（支援拠点病院）

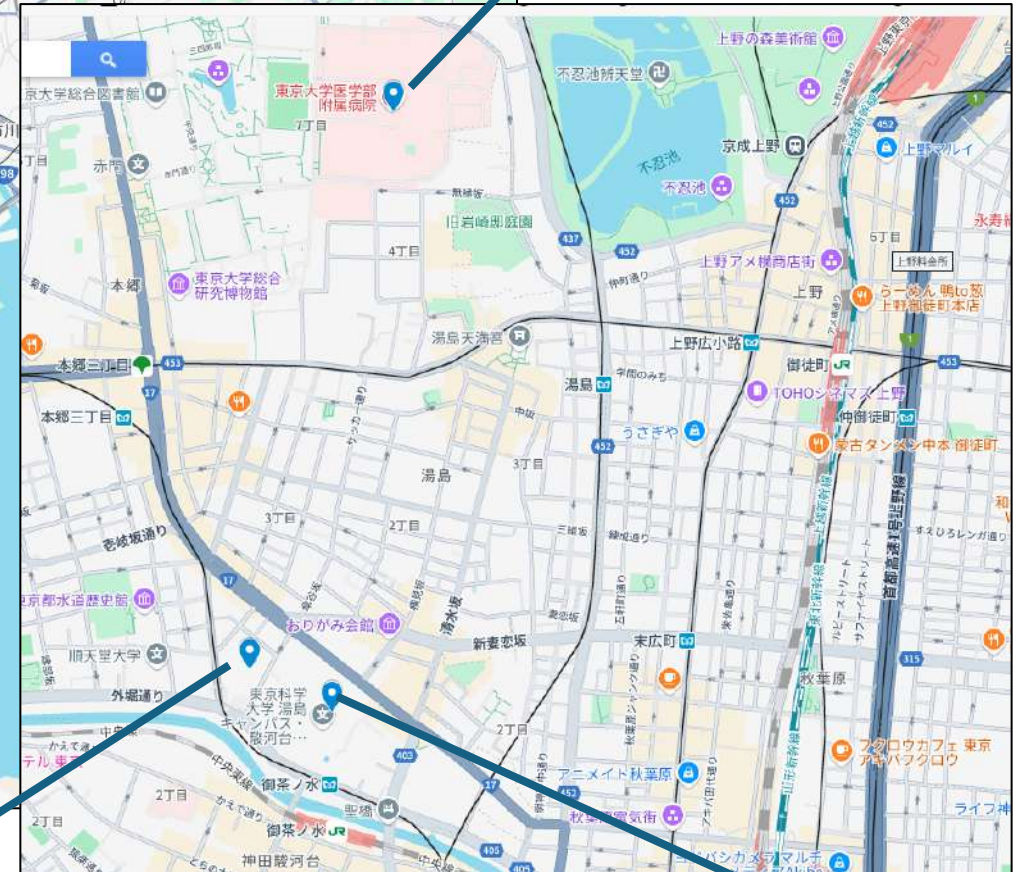
都立神経病院（支援連携病院）

東京大学病院
（支援連携病院）



東京医科大八王子医療センター
（支援連携病院）

順天堂大学病院
（支援連携病院）



東京科学大学病院
（支援連携病院）

国立精神・神経医療研究センター
総合てんかんセンター

**てんかん
市民公開講座**

てんかんについて知ろう！

※参加費無料 事前登録が必要です

事前登録URL
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_5ZsdBJokTOy7EGk9-h4D7w#/registration

登録はこちら

2023年度開催てんかん市民公開講座動画 YouTube 配信中
<https://tokyo-esc.ncnp.go.jp/activity.html>

2024年7月28日(日)
14:00~16:00 オンライン開催

プログラム

司会 齋藤貴志(脳神経小児科副部長)
開会のあいさつ 岩崎真樹(脳神経外科部長)

1. てんかんとこどもの発達 齋藤貴志(脳神経小児科)
2. てんかんとこころの問題 谷口豪(てんかん診療科)
3. 車の運転と免許について 岩崎真樹(脳神経外科)
4. 支援制度と生活のサポート 外山愛(地域連携医療福祉相談室)

閉会のあいさつ 中川栄二(総合てんかんセンター長)

主催 国立精神・神経医療研究センター病院 総合てんかんセンター
東京都てんかん地域診療連携体制整備事業 お問い合わせ: epi-tokyo@ncnp.go.jp

2024年度
第2回

**てんかん
市民公開講座**

※参加費無料
事前登録が
必要です

事前登録URL
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_9Si0Eps6Si2OwsgB8ShR0Q

2024 **12/15 日** 事前登録は
こちら

14:00~16:00 オンライン開催

プログラム

司会/岩崎真樹(脳神経外科部長)
開会のあいさつ/中川栄二(総合てんかんセンター長)

1. てんかんとともに生きる 日常生活の注意点と工夫 原稔枝(看護部)
2. てんかんの検査 住友典子(脳神経小児科)
3. てんかんのニューロモジュレーション治療 林貴啓(脳神経外科)
4. てんかんに関するQ&A 齋藤貴志(脳神経小児科)

閉会のあいさつ/谷口豪(てんかん診療科医長)

質疑応答の
時間も
あります

主催 国立精神・神経医療研究センター病院 総合てんかんセンター
(東京都てんかん支援拠点病院)
東京都てんかん地域診療連携体制整備事業
お問い合わせ: epi-tokyo@ncnp.go.jp

市民啓発活動 (市民公開講座2024)

* てんかん市民公開講座

・ 2024年7月28日(日)
登録者235名、
参加148名(出席率63%)

・ 2024年12月15日(日)
登録者184名、
参加123名(出席率67%)

・ 関東、東京、近隣市からの参加者が大多数を占めるが、コロナ禍以来のWeb開催により、海外等遠方からの参加もあり

国立精神・神経医療研究センター病院

NCNP

Purple Day Everyday

3月26日はPurple Day

てんかんを持つ人を
ひといぼっちにしない

パープルマン
©一般社団法人
Purple Day Japan

パープルマンが
やってくる！
てんかん啓発を行う
ヒーロー。
今年もNCNPに
参上！

てんかんを知ろう！3月19日水は
NCNPパープルデー

カナダに住む一人の女の子、キャンディー・メーガンさんが始めた、てんかんを知るためのキャンペーン。世界中でこの日にてんかんの啓発活動が行われます。世界中の人がテーマカラーの「紫色のもの」を身につけ、てんかんをもつ人への応援メッセージを送ります。また、講演会や音楽イベントのように、皆さん楽しみながらてんかんへの理解を深められるようなイベントが各地で開催されています。

12:45～13:45 2025
院内イベント
NCNP 病院1階にて
クイズイベント開催！

オリジナルパッケージのチョコレート、名付けて「パープルマンチョコレート」クイズの正解数に応じて配布します。

13:00～15:00
ピア相談 事前予約制

予約フォーム→<https://forms.office.com/r/yx32L4?origin=ptLink>

教育研修棟(ユニバーサルホール)

※てんかんを持つ人やその家族が抱える課題として、経験が豊富なスタッフと、生活における困り事の相談を受け付けます。

クイズ てんかんを2種類に分けると何と何？ 答えはNCNPのHPから→

NCNP 総合てんかんセンター／てんかん全国支援センター／東京都てんかん支援拠点病院



市民啓発活動（パープルデイ2025）

* NCNPパープルデイ2025（2025年3月19日）

てんかん患者およびその家族を対象に、パープルデーイベントを開催した。PurpleDay Japanの協力のもと、スタッフが紫のテーマカラーを身に着け、てんかんに対する理解を深めるクイズイベントを行い、また、てんかん協会協力のもと、『てんかん患者と家族のピア相談』を行い、5組の相談が行われた。

てんかんを知ろう！3月26日「パープルデー」てんかんへの理解促進ライトアップ

3月26日は、てんかんへの理解促進を目的とした「パープルデー」です。社会全体で、てんかんに対する理解が進むよう、普及啓発の一環として都庁第一本庁舎をテーマカラーであるパープルにライトアップします。

【日時】3月26日（水曜日）18時00分から23時00分まで（プロジェクションマッピング時間帯を除く）



▶ 報道発表資料 [てんかんへの理解普及啓発都庁舎ライトアップ](#)



国立精神・神経医療研究センターは、国のてんかん地域
診療連携体制整備事業に基づき、東京都から
「てんかん支援拠点病院」の指定を受けています。
患者さんやそのご家族への相談支援、他の医療機関や
関係機関との連携、医療従事者等への教育や地域の皆様への
普及啓発活動などの取組を行っています。



事業概要



てんかんを診る
医療機関の検索



てんかんを診る医療機関の検索はこちら



てんかんに関するご相談はこちら



相談事業

2023 年3 月のHP 公開とともに
ウェブフォームで相談受付開始。

公認心理師等のてんかん診療
コーディネーターによるウェブ
フォームによる相談窓口の運用。

- ・ 相談件数：176件
(2025/6/10現在)
- ・ 月に2件から6件ほどの相談がある



てんかんを診る医療機関の検索 (診療マップ)

2023年度より指定自立支援医療機関対象にアンケートを行い、283件の診療施設一覧を『東京都てんかん支援拠点』HP内に公開（2025/1/6）

医療機関名	NCNP病院(国立精神・神経医療研究センター)
住所	東京都 小平市 小川東町4-1-1 MAP
電話	042-341-2711
診療科	脳神経内科／小児科／脳神経外科／精神科／その他(てんかん診療部)
対象年齢	小児／思春期／成人／高齢者
てんかん専門医の有無	有(脳神経内科、小児科、脳神経外科、精神科)
てんかんの診療機能	安定した患者さんの継続診療(処方)／発作がある患者さんの内服調整／知的障害を併存している患者さんの通院／発達障害を併存している患者さんの通院／身体障害・医療的ケアを要する患者さんの通院／精神的併存症を有する患者さんの通院／迷走神経刺激療法の管理／てんかん患者の入院診療
実施できる検査	抗てんかん薬の血中濃度測定／脳波／長時間ビデオ脳波／MRI
その他備考	総合てんかんセンターを併設し、乳幼児から高齢者まで全年齢層の患者さんを対象にてんかんの専門治療を提供しています。てんかん外科と術前検査、ケトン食療法、心因性発作との鑑別診断、併存症を有する患者さんの治療、難治てんかんの薬剤調整、脳磁図検査(MEG)、迷走神経刺激療法(VNS)、脳深部刺激療法(DBS)など、てんかんに対するさまざまな検査・治療を提供しています。

今後の活動目標

①相談支援体制の拡充

- ・ピア相談体制の強化（てんかん協会東京支部と連携）
- ・患者同士あるいは家族同士の経験を分かち合う「ピア相談」の場の拡充

② 教育・研修事業

- ・「非専門医のためのてんかん診療研修会」
- ・教育機関/行政向け研修
- ・てんかん学習プログラムの拡充

③ 連携の仕組みづくり

- ・地域拠点との連携モデル（多摩地区モデルなど）
- ・多職種合同ケース会議の定期化に向けた方針